

公開講座 申込方法



申込フォーム

日本美術家連盟 2024年度 前期公開講座のご案内

応募者殺到の場合は抽選です。

お申し込みは、連盟ウェブサイトの〈申込フォーム〉(左QR)よりお願いいたします。インターネットをご利用にならない方は、FAX等で、①名前(フリガナ) ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④会員(会員番号)・非会員の別、⑤どの講座にお申込みか事務局までお知らせください。お申込み後に事務局から「参加決定通知書と参加費の請求書」を受け取られた方のみがご参加できます。定員になり次第締切りますが、応募者殺到の場合は、抽選にて参加者を決定します。

当連盟の公開講座のご案内です。本年度は全10講座中の3講座を東京近郊以外での開催を予定しています。今号では前期公開講座として、6講座を受け付けます。



『美術家の健康と安全 増補改定2020年版』カバー

講義(実技) 美術家の健康と安全—工具編— 講師 原透

2024年8月22日(木) 13:30▶16:00 場所:美術家連盟画廊(同館アトリエに変更の場合もあり)
定員10名程度 参加費:会員無料・一般3,000円(左図のハンドブック付)

会員
無料

例えば定規とカッターを使用して正しく紙やステンボードを切断できますか? 美術家が、日常的に使用しているハンマーやドライバー、電気ドリルやグラインダーのような電気工具まで、正しい使用法を明文化して伝えることができますか? 「習わなくても使えてしまえる工具」には危険な誤解がたくさんあります。この機会にプロのつくり手として当然の知識を身につけましょう。*一般には参加費に左図のハンドブックが含まれています。



⑤ 太田國廣氏

実技 偶発形態による構成 講師 太田 國廣

2024年9月26日(木) 13:00▶16:00 場所:美術家連盟画廊
定員18名程度 参加費:会員5,000円・一般8,000円

しみ・滲み・ドリッピング・スクラッチ・マーブリング・フロッターージュなどの各種技法を様々な素材を用いて実践し、これらの偶発性の強い形態を利用した構成法・発想法について考察、実習します。

講義・実技 ジェスモナイト講習会

講師 松本 広子(Jesmonite® 日本総代理店 シアンドビィ株式会社) 監修 津田 裕子

2024年9月27日(金) 13:00▶16:00 場所:美術家連盟画廊
定員10名程度 参加費:会員5,000円・一般8,000円

人体・環境に優しい水性樹脂「Jesmonite®(ジェスモナイト)」の説明と講師による実演、受講者の実習の講習会。

完全水性で匂いもほぼ無く、どこでも安心・安全に扱える材料。型への流し込みやFRPなど基本操作の他、粘土の様に手捻りで造形してみる試みも。新たな造形の可能性を探る講習会です。



ジェスモナイトの注型の様子

共催 札幌芸術の森(公益財団法人 札幌市芸術文化財団)

実技 木版画凹版摺り講座 講師 河内 成幸。

2024年10月13日(木) 10:00▶17:00

場所:札幌芸術の森 版画工房

定員15名程度 参加費:会員・一般ともに5,000円

木版画は、本来凸版版画ですが、今回開催する河内成幸氏による木版画講座は「木版画凹版摺り」を開催します。少々変わった風変わりな版画ですが、1日の講座で完成できるよう企画しています。版画未経験の方もお気軽にご参加ください。

*講座終了後に懇親会を開催します(場所未定・会費:会員3,000円 一般5,000円 懇親会会費は講座参加費には含まれていません)。お時間ある方、講座に参加されない方もお気軽にご参加ください。(懇親会の場所・時間については10月以降に事務局にお問い合わせ下さい)



河内成幸氏。氏の作品は本講座の「木版画凹版摺り」の技法で制作されています。

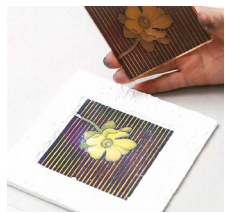
開催 北海道

実技 石膏刷り 講師 渡辺 達正

2024年10月17日(木) 13:00▶16:00 場所:美術家連盟画廊

定員8名程度 参加費:会員5,000円・一般8,000円

「石膏刷り」は石膏の吸着力を利用して、銅版のインクを転写するので、プレス機が無くても凹版画を刷る事ができます。おそらくこの刷り方が銅版に刻まれた線の実際をもっとも良く現していると言えるでしょう。本講座は私が考案して発売されているキットを使い、ハガキ大ほどの作品を制作します。



硬化した石膏から版木をはがした様子

実技 蜜蝋画制作会 講師 小林 裕児

2024年11月14日(木) 11:00▶16:00 場所:美術家連盟画廊

定員8名 参加費:会員10,000円・一般15,000円

蜜蝋画とは、古代エジプトまで遡る大変古い絵画技術です。蜜蝋の60℃という低い融点を生かし、顔料を溶かした溶媒が冷え固まる短時間の中で制作します。本講座ではどこの家庭でもある身近なホットプレートと手芸用の電気鋺を使い作品制作を試みます。



⑥ 小林裕児氏

公開講座 申込方法



申込フォーム

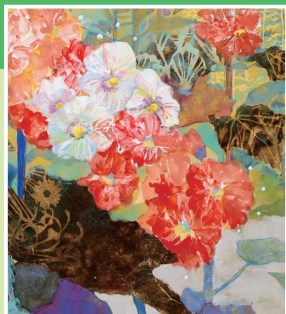
日本美術家連盟 2024年度

後期公開講座のご案内

応募者殺到の場合は抽選です。

お申し込みは、連盟ウェブサイトの〈申込フォーム〉(左QR)よりお願いいたします。インターネットをご利用にならない方は、FAX等で、①名前(フリガナ) ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④会員(会員番号)・非会員の別、⑤どの講座にお申込みか事務局までお知らせください。お申込み後に事務局から「参加決定通知書と参加費の請求書」を受け取られたのみがご参加できます。定員になり次第締切りますが、応募者殺到の場合は、抽選にて参加者を決定します。

後期公開講座をご案内します。毎年人気の「箔」と「蠟型鑄造」についての講座です。次号では三浦明範氏と安達博文氏による2講座をご案内する予定です。



多摩美・日本画の学生による箔焼きの参考作品(部分)

実技 続・表現としての、箔焼き —箔糊を使い更に自由に—

講師 武田州左・河嶋淳司

2024年11月30日(土) 13:00▶16:00 場所:美術家連盟画廊

定員10名程度 参加費:会員5,000円・一般8,000円

前回試みた日本画の装飾技法「箔焼き」を今回更にブラッシュアップ、ドーサ液の代わりに「箔糊(はくのり)」使う事で、より自由自在にオリジナルな表現を目指します。

*今回も「押し花」、または「型紙になるもの」をお持ちください。



火入れの様子

実習 蠟による直接的表現 講師 宇野 務 (協力:櫻井美術鑄造)

*2日間参加可能な方のみ応募可

1日目:2025年1月11日(土) 10:00▶17:00 (場所:美術家連盟画廊)

2日目:2025年2月7日(金) 9:00▶16:00 (場所:櫻井美術鑄造(東京都板橋区))

定員6名 参加費(2日間計):会員18,000円・一般25,000円

彫刻家の技法を通して作家たちがどのようにブロンズと取り組んでいるのかをイタリア式蠟型鑄造技法を中心に紹介致します、また実際に蠟を用いて小品の制作を行い、鑄造所で鑄物にします。ふるってご参加ください。

公開講座 申込方法



申込フォーム

日本美術家連盟 2024年度 後期公開講座のご案内

応募者殺到の場合は抽選です。

お申し込みは、連盟ウェブサイトの〈申込フォーム〉(左QR)よりお願いいたします。インターネットをご利用にならない方は、FAX等で、①名前(フリガナ) ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④会員(会員番号)・非会員の別、⑤どの講座にお申込みか 事務局までお知らせください。お申込み後に事務局から「参加決定通知書と参加費の請求書」を受け取られた方のみがご参加できます。定員になり次第締切りますが、応募者殺到の場合は、抽選にて参加者を決定します。

前号でご案内した二つの後期公開講座に加えて、三浦明範氏と安達博文氏による2講座を新たにご案内します。
三浦氏はzoom配信による受講ができます。富山県では安達氏のアトリエで開催します。

ZOOM 参加可

「教材」発送の都合上、本講座のみ、「参加決定通知書」をお受け取りになられた後に、原則キャンセルは受け付けられません。

協賛：株式会社クサカベ・株式会社文房堂

実習 アルキド樹脂を使った混合技法

講師 三浦明範

*2日間参加可能な方のみ応募可

1日目：2025年2月22日(日) 13:00▶16:00

2日目：2025年3月22日(日) 13:00▶16:00

場所：美術家連盟画廊・zoom参加可

定員：会場15名・zoom15名

参加費(2日間計)：会員5,000円・一般8,000円

水と油は反発しあうが、アルキド樹脂の利用で水性絵具と油性絵具を交互に塗り重ねられるようになる。油彩とテンペラに代わる新たな混合技法の可能性を探る実技講座。会場での対面とオンラインでの遠隔実習を同時に行い、間を空けた全2日間で完成までを目指す。

*事前に送付される教材を使用し、添付の説明書に沿って準備した上で受講すること。



三浦講師による工程のイメージ

開催 富山

安達博文氏の作品に見られる発色の秘密を、安達博文氏のアトリエで学びます。貴重な時間になること必至の講座です。



支持体への不織布貼り付け風景

実習 下地づくり 講師 安達博文

2025年3月30日(日) 11:00▶16:00

場所：富山市 安達博文邸アトリエ

定員：10名 参加費：会員5,000円・一般8,000円

絵画における発色や画肌効果は、下地の如何によって大きく変わります。作画工程の50パーセント以上を占めるといっても過言ではありません。本講座では水性下地《白亜地》(岩絵具・アクリル絵具・テンペラ絵具・油絵具の使用可)、半油性下地(油絵具)、油性下地(油絵具)塗料を作製し、支持体であるキャンバスや板への刷毛塗りとヘラ塗りによる下地づくりを行い、それぞれの効果の違いを理解します。